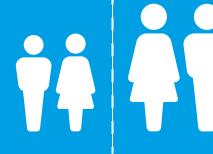


この地図は、領土や国境の法的地位についてのユニセフの立場を示すものではない。

© Global Education & Child Protection / Global Protection Cluster



民兵組織の40から60パーセントを子どもが占め、その多くが15歳未満であり、戦争犯罪の一端を担っている。子どもたちが戦闘員や人間の盾として使用された事例が、500件以上報告されている。



少なくとも5,000人の子どもたちが、家族と離ればなれになり、民兵組織に徴用されたり暴力行為の犠牲になる危険に晒されている。



強い衝撃を受け、恐怖の中で生活する多くの子どもたちが心理的苦痛を抱えており、短い時間であっても両親と離れることが怖い兆候がある。



2016年の8月に危機に陥って以降、女の子350人、男の子4人を含む、600件の性的暴行事例が報告されている。汚名を着せられ、報復を受けることを恐れ、暴力行為を報告しないことがあり、報告件数は実際の件数よりも少ない可能性が高い。



2017年1月から3月の間に、少なくとも100人の子どもが殺害された。多くの違法処刑が行われ、民兵組織と関係のある子どもたちに影響を与えている。



2016年8月から2017年3月の間に、カナンガとツィカバで300人以上の子どもたちが逮捕された。子どもの保護活動により、カナンガにある中央刑務所の拘留所に捕らわれている子どもは、数十人のみとなっている。牢での生活環境は不安定で、拷問される子どもたちもいる。